

みんなが協力して、取り組みをすすめているんだね。



火事にあつた山は、時間とともに、崩れやすくなり、大雨の被害にもあやしくなる。そうならないために、国、県、市町村、地域の人たちが連携して、森づくりや、治山工事を進めるよ。



山火事が起きてしまった森林はどうなるの？



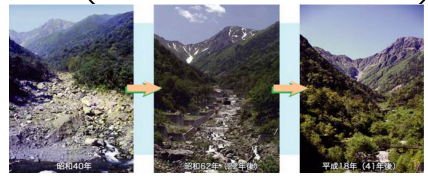
治山工事では、どんなことをするの？



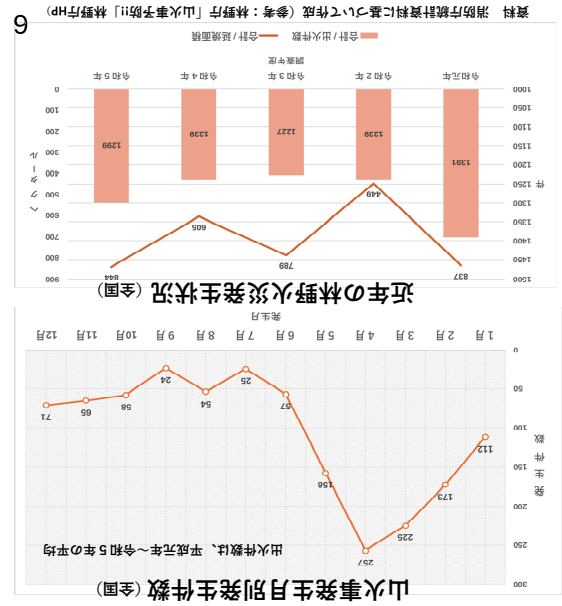
災害に強い山づくりをするよ。



崩れた沢や山が、それ以上崩れないように手当てして、下流に土砂が流れ出るのを防いだり森に戻したりするぞ。



出典 林野庁 パンフレット「ちさん（治山の仕組みと役割）」林野庁HP

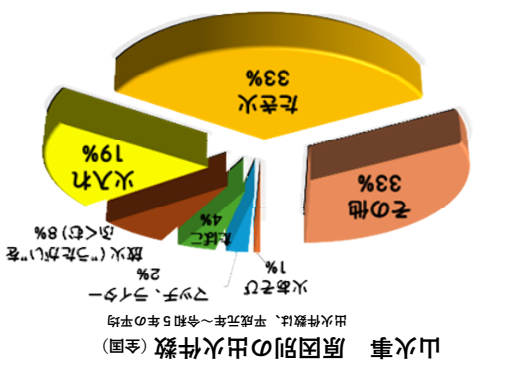


山火事がおこりやすい時期が分かるね。



写真上から3枚目 出典: 林野庁「山火事予防!!」林野庁HPより

資料 消防庁統計資料に基づいて作成



このグラフを見て、どんなことが分かるかな？



山火事は、どうかな？



今日は、森林で起こる災害について、学びましょう。



森林で起こる災害には、どんなものがあるかな。

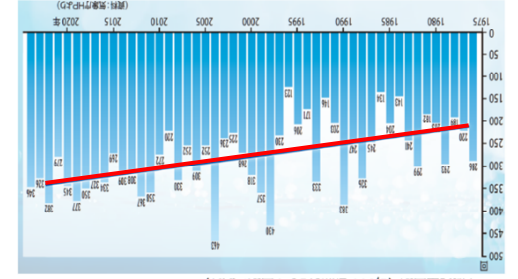


過去5か年のデータによると、1年間に起きる山地災害の被害箇所数は約1,400にもなるそうよ。

本当だ。グラフの赤色の線(降水量)がすごすつ増えてきているね！



出典 林野庁「山地災害に備える」林野庁HPより
 出典: (一社)日本治山治水協会、編集: (一社)全国林業改良普及協会
https://www.data.jma.go.jp/cdfinfo/extreme_r.html (を加工し記録を加工し記録)

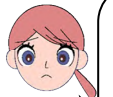


最近では、局地的な集中豪雨が



増えているよ。

過去5か年のデータによると、1年間に起きる山地災害の被害箇所数は約1,400にもなるそうよ。



※過去5か年: 令和2～6年 (資料: 林野庁HP)

ええ～っ。なぜそんなに多くの山地災害が起こるの？



日本は、山がけわしく、川幅がせまくて急流が多いこと、梅雨や台風時に集中豪雨が起りやすいこと、火山が多く、崩れやすいことなどが原因なんだ。

